

1P 1400文字 写真が入ると減る 最大3ページ

タイトル：ニコ技のためにある場所

作者：高須 正和 @tks (チームラボMake部)

■正解のあるテクノロジー

ニコニコ技術部＝テクノロジーを使ってウケをとること＝は、かなり高度な遊びだと思っている。

僕がはじめて「住んだことのある外国」は、2013年のジャカルタだった。2016年の今はIoTハッカソンなども開かれているインドネシアだけど、当時も今も先進国ではない。

[写真：インドネシア在住のギークたちとボロブドゥール遺跡を訪ねる。このとき、パイオハッカーが遺跡周辺のコケを採取していた]

冷蔵庫がない飲食店（屋台）が多くある。冷蔵庫はすごい発明だ。冷蔵庫がないと、野菜や肉を新鮮なまま保存することが難しいから、食事が揚げ物ばかりになってしまう。一度揚げたものをお客さんに出す前にまた揚げ直す。インドネシアの調理油は、なぜか日本では石けんの材料にしかない、常温では固形化しているようなパーム油だ。とても胃もたれするし、健康にも悪そうだ。

ジャカルタではいま地下鉄を通して。地下鉄もすごい発明だ。車がないと移動できないジャカルタでは、よく2kmぐらいの距離をタクシーに乗ったら1時間、みたいなことがある。

テクノロジーがきちんと普及することは、人間を一気に幸せにする効果がある。ニコ技が作っているものは、冷蔵庫や地下鉄には及ばない。発展途上国では優秀な人ほど、インフラとか「答えがきっちり見えている問題」を解こうとしていて、作品への質問の多くは「何の役に立つの？」であり、ニコ技との親和性は高くない。

■正解のないテクノロジー

発展途上の国は、どうすれば良いかの正解が見えている。地下鉄や冷蔵庫のない場所は、なるべく早く行き渡るようにすればいい。

一方で、先進国は、道なき道を進んでいる。正解がある問題は多くがすでに解かれている。もちろん研究所など、優秀な人の集まりも蓄積も、先進国には多いが…社会が複雑になりすぎていて、解くべき問題を見つけることも難しくなってきたりしている。

「面白くすること」はそこへの、一つのヒントになる。

メイカーフェアを世界で最初に始めたメイカーメディアのデールはイノベーションについて、『一番いいイノベーションは趣味、ホビーとしての世界で、考えるよりも本能のままに作ることから始まる』と答えている。2012年のこのインタビュー(

<http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/1206/08/news138.html>)には、『イノベーションを生み出すのは“Play”、あくまで遊び感覚からだと思っている。アイデアを思い付く最初の段階で、「ビジネスとして、成功するか、失敗するか」なんて考えていると、新しい発想は出てきづらい(笑)。「俺の作ったロボットを見て、ビックリした人が、どんな顔をするかな？」みたいなことをスタート地点にしている。』『作ることと遊ぶことの境目を曖昧にする』など、まるでニコ技の部員に聞いたような答えがいくつもでてる。

ニコ技の作品そのもの、また作品を作るプロセスに現れている「ウケることの楽しさ」、そこから生まれる(かもしれない)イノベーションは、複雑になり、袋小路に見えかねない世界に、新しい答えを与えるかもしれない。

[写真：先進国のほうが、「作ってみた」についての理解が深い。これはメイカーフェアシンガポールで、電動ドリルを使ってゴーカートにしてみたもの]

■世界はニコ技を待っている

僕を発起人とした何人かは、ニコ技輸出プロジェクトとして、海外のメイカーイベントへのニコ技からの共同出典を行っている。具体的にやっているのは、共同出典としてブースを多めに申し込み、出展費を割り勘することだ。現地までの交通や宿泊は各自が行っている。

特に台湾は日本から近く、関西方面からだとかルチャー的にも予算的にも、メイカーフェア東京に出すよりむしろ手軽に出展できるフェアとして、今年は20人近くが出展・見学に

訪れた。台湾はヘボコンが大人気だったり、メイカーフェア内で「役に立たない自作ガジェット選手権」が開かれるなど、面白いセンスについてもかなり日本と親和性のある国で、台湾からメイカーフェア東京への出展者も多く、年に2回会い続けるコミュニティが生まれつつある。

[写真:メイカーフェア台北への出展者たち。撮影してくれたのは、隣のブースで出展していたSeeedの社長エリック・パン氏]

シンガポールでは2015年に共同出展したニコ技ブースに前述のデールが訪れ、優れたメイカーを表彰するMakerMeritのブルータグを渡していった。2016年には、「一緒にメイカーフェアを盛り上げるコミュニティパートナー」として、シンガポール内のいくつかの機関/団体とともにニコニコ技術部が表彰され、ヤコブ・イブラヒム情報通信大臣からCertificationをいただいた。

[写真:メイカーフェアシンガポール2014にて、ニコニコ技術部ブースを訪れたデール氏]

次回のニコ技共同出展は、おそらく10月21-23日のMakerFaire深センになると思われる。また、来年も台湾とシンガポールでは共同出展が行われるはずだ。

世界はニコ技を待っている。